

* * *

学 会 記 事

* * *

§ 平成 21 年第 1 回日本核医学会理事会
議事録

日 時：平成 21 年 2 月 9 日 (月)
12 時 00 分～16 時 00 分
場 所：日本アイソトープ協会 第 3 会議室

出席者：

理事長：遠藤啓吾
理 事：玉木長良，小須田茂，米倉義晴，
中條政敬，中村佳代子，
日下部きよ子，松田博史，望月輝一，
桑原康雄，伊藤健吾，菅野 巖，
汲田伸一郎，竹田 寛，荒野 泰

監 事：久保敦司，小泉 潔

次期会長：油野民雄

次々期会長：本田憲業

幹事長：織内 昇

事務局：神田正子

欠席者：

理 事：福田 寛，山崎純一，畑澤 順，
絹谷清剛

(敬称略，順不同)

議題

I. 審議事項

1. 利益相反 (COI) について

(1)(竹田 寛理事)

平成 20 年 12 月 16 日に開催された「臨床研究の倫理と利益相反に関するワークショップ」について報告した。医療機関，大学のほか，日本癌治療学会，臨床腫瘍学会，癌学会などは利益相反ポリシーを策定し実施している。本学会として倫理検討委員会の下部組織として利益相

反委員会あるいは WG を設置し，指針，施行細則ならびに自己申告書等を作成する必要があるとの提言と資料に基づく説明があった。竹田理事が中心に委員会で原案を作成し，次回の理事会で審議することとなった。

2. 50 回記念誌について

(2)(本田憲業次期会長)

第 50 回大会記念誌の作成についての提案と内容についての説明があった。核医学の歴史と将来展望を会員が広く理解し情報を共有する目的を達成するための内容とし，平成 22 年の総会を目途に刊行する。

3. 久田賞について (3)(松田博史理事)

久田賞の選考規定について説明された。久田先生の寄付が副賞として充当され日本核医学会機関誌論文賞が久田賞となる。受賞論文は総会でパネル展示を行う。

4. PET 歯科医師について (遠藤啓吾理事長)

歯科医師の PET 認定医取得について検討を始めることが承認された。認定方法や名称の策定を行う。

5. その他

1) 評議員選挙の選挙管理委員会は，理事長が委員長，幹事と監事が委員，庶務担当理事がオブザーバーとすることが承認された。

II. 報告事項

1. 第 49 回学術総会状況報告

(4)(油野民雄会長)

第 49 回学術総会のスケジュール等についての説明があった。呼吸器核医学研究会，分子イメージング研究会，脳神経核医学研究会は最終日に行われる。アジア若手研究者奨励賞受賞者

の発表枠について、ならびに久田賞の授与式を社員総会で行うことが報告された。

2. 第 50 回学術総会準備状況報告

(5)(本田憲業次期会長)

第 50 回学術総会の準備状況について説明された。市民公開講座は、埼玉医大の市民公開講座と共同で開催する。「核医学が貢献する、がん診療の最先端 診断から治療まで」をテーマとして行う。技術学会との会合がもたれ、平成 22 年 11 月 11 日から 13 日(土)の日程で開催することが決定したことが報告された。症例集の CD-ROM 刊行への協力依頼があった。

3. 第 51 回学術総会準備状況報告

(小須田茂次々期会長)

平成 23 年 10 月 28 日から 30 日(日)につくば国際会議場で開催する。テーマは他のモダリティとの協調に主眼を置いて、CT、MRI の読影など教育的な内容を考慮していることが報告された。来年には茨城空港が開港し交通の便がさらによくなること、研究所などの見学も予定していることなどについて言及があった。

4. 第 9 回春季大会準備状況報告

(遠藤啓吾理事長)

本年 5 月 9、10 日に開催する。日程の短縮などで費用を節約したことに伴い講師の協力に対する要請があった。PET 認定医、専門医更新について周知をはかるなど、出席者を増加させる方策がとられていることが報告された。更新の場合には受講日数を短くする点については今後議論する。

5. 会計報告 (6)(中條政敬理事)

資料に基づき平成 20 年 9 月から 12 月分の会計が報告された。法人格の変更に伴い課税対象が変更され法人税が減額されたことなどが報告された。

6. 委員会報告

1) 編集委員会 (7)(松田博史理事)

ANM と核医学の論文掲載について報告された。症例報告の掲載基準についての検討結果が示され、各号で 1-2 編とすることが提

案された。発送業者の変更に伴う経費削減ならびに投稿論文数の増加、特に海外からの投稿の増加や IF が今年は 1 を超える予想であることが報告された。

2) 教育・専門医審査委員会

(8)(汲田伸一郎理事)

専門医教育病院の要件を満たさない病院が増加している問題について提議され、対策の必要性が論議された。専門医育成カリキュラムや試験内容についても論議された。

3) PET 核医学委員会 (9)(伊藤健吾理事)

委員会での取り組み事項について紹介された。アンモニアについては、専門家会議で順調に審議が行われていることが報告された。

高度医療評価制度についてはアンケートの集計結果を各施設に送付したことが資料をもとに説明された。メチオニンは高度医療として非承認となったことが報告された。

成熟薬剤の今後のあり方について、高度医療、臨床研究の指針、マイクロドーズなどとの関係を含めて日本アイソトープ協会のポジトロン核医学専門利用委員会の中に WG(井上登美夫主査)を立ち上げて検討することが報告された。

米国 CMS の抜粋が資料として示され、PET が多くの癌で初期診断とともに治療後モニタリングも可能となっていることなどが提示された。

4) 健保委員会 (10)(日下部きよ子理事)

来年の保険収載に向けての取り組みについて報告された。紹介率 20% の件、内照射の治療病室代、メタストロンやゼヴァリンの管理加算や治療料など、アンケート結果をもとに働きかけていくことなど。

5) 広報委員会 (中村佳代子理事)

HP に企業のウェブ広告が掲載されており、機器メーカーにも広告の掲載を依頼することが提案された。EANM に関するニュースレターを HP に載せていること、

ANM が第 3 号からオンラインファーストとなること、その告知システムについて、メールマガジンについて検討していることなどが報告された。

6) 公益法人化対応委員会

(遠藤啓吾理事長)

平成 20 年 12 月 1 日付けで「中間法人法」が廃止となり、「有限責任中間法人日本核医学会」から「一般社団法人日本核医学会」に移行したことが報告された。中間法人の役員が、継続して、一般社団法人の役員に就任することが報告された。

7) リスクマネジメント委員会

(畑澤 順理事)

8) 放射線防護委員会 (米倉義晴理事)
医療被曝について委員会で議論していることが報告された。

9) 倫理検討委員会 (竹田 寛理事)

10) 学会賞選考委員会 (菅野 巖理事)
学会員に周知して応募を増やすよう提言された。

11) 放射性医薬品臨床評価ガイドライン作成委員会 (荒野 泰理事)
アイソトープ協会の委員会と連動して活動していることが報告された。

12) 核医学認定薬剤師に関する検討委員会 (11)(荒野 泰理事)

核医学認定薬剤師を推進する方針が示された。薬剤師会や病院薬剤師会などが認定母体となること、アイソトープ施設のない薬科大学が多いことなどが報告された。

13) 将来計画委員会 (汲田伸一郎理事)

14) 選挙管理委員会 (遠藤啓吾理事長)

7. ワーキンググループ (畑澤 順理事)

8. 分科会活動

1) 腫瘍・免疫核医学研究会

(18)(伊藤健吾理事)

第 45 回は春季大会の期間中に行い、一般演題とミニシンポジウムを予定していることが報告された。

2) 日本脳神経核医学研究会

(松田博史理事)

ガイドラインの策定について報告された。

3) 日本心臓核医学会 (山崎純一理事)

心臓核医学会とともに 6 月 26, 27 日に品川コンベンションホールで行うことが報告された。

4) 呼吸器核医学研究会 (竹田 寛理事)

完成したガイドラインの販売および企業の買い上げについて、ならびに次の研究会について報告された。

5) PET 核医学分科会 (19)(伊藤健吾理事)

第 4 回執行委員会について議事録に基づいて報告された。アミロイドイメージングによる脳検診についての問題点について検討していること、ならびに第 2 回デリバリー PET 連絡協議会についての案内があった。

9. 国外学会等連携担当理事

(中村佳代子理事)

1) 世界核医学会

遠藤理事長と小須田理事がインドで開催された世界核医学会に出席した。次回は第 10 回で 2010 年 9 月 18 日から 22 日の会期でケープタウンで開催される。2014 年はメキシコのカンクンで開催されることが決定した。次回については学会として参加を働きかけることとなった。

2) 米国核医学会 (12)(桑原康雄理事)

桑原理事が提案したシンポジウムが採択され 6 月 16 日に行われることについて説明があった。SNM のブースについては昨年と同様であることが報告された。

3) アジアオセアニア核医学会

(ARCCNM 兼務)

2010 年はイランでの開催が決定したことが報告された。

4) 日韓中核医学会

青島で開催される予定である。また韓国との若手の交流についてソウル大学の JK Chun 氏と協議していることが報告された。

10. その他

- 1) 核医学専門技師養成講座について
(13, 20)(小泉 潔監事)
核医学専門技師認定機構からの事業日程の案内ならびに「核医学専門技師研修セミナー」および「核医学専門技師養成講座」への後援依頼について、それらの文書をもとに説明があった。
- 2) ^{99}Mo 国産化検討委員会について
(14)(小須田茂理事)
資料に基づき ^{99}Mo の国産化についての検討結果が説明された。PZC に係る検討については途上であるが、インドネシアのバタンでの実証実験の結果待ちであり、進捗に困難があることが報告された。
- 3) 事務員の新規採用について
(小須田茂理事)
学会事務局の大野悠子さんの退職のため、新規採用のため人材派遣会社に依頼する見通しであることが報告された。
- 4) 2009 年(第 25 回)日本国際賞授賞式について
(遠藤啓吾理事長)
日本国際賞を Kuhl 博士が受賞されたことについての報告と授賞式ならびに講演会に

についての案内があった。

- 5) JJ1017 Ver. 3.0 の改訂について
(15)(本田憲業次期会長)
JJ1017 Ver. 3.0 の改訂についての社団法人日本画像医療システム工業会に対する要望書案について説明された。

III. 確認事項

1. 前回議事録(案) (16)
前回議事録が承認された。
2. 平成 20 年度日本核医学会担当役員リスト (17)
平成 20 年度日本核医学会担当役員リストを確認した。公益法人化対応委員会は削除する。標榜科推進委員会の委員長は理事長とし必要により指名する。
分科会のうち脳神経核医学研究会は伊藤理事を運営委員長とし、日本心臓核医学会は玉木理事を理事長とする。
3. その他
第 10 回春季大会は遠藤理事長が大会長で行う。
次回理事会は平成 21 年 5 月 8 日 15 時から開催する。